



モザンビーク 活動報告

2024年6月～2025年5月

日本の皆さまからのご寄付で、モザンビークの子どもたちに就学前教育を届け、教育の質を改善することができました。

モザンビークの小学校入学率は99%と高く、男女間での大きな格差はありません。しかしながら、その30%以上が小学校を卒業できていません。貧困、教育の質の低さ、教育の重要性への理解不足、将来の選択肢の少なさ、そして紛争や自然災害の増加も、退学の要因になっています。さらに、モザンビークでは幼稚園などの就学前教育の就園率が5%と低く、子どもが小学校で学ぶ準備ができていないことも大きな要因です。

こうした教育の課題を解決するためには、地道な支援と相応の年月が必要です。

ユニセフは、就学前教育を通して子どもたちが小学校の生活に必要なスキルを身につけ、入学後には、安心・安全な環境で質の高い授業を受け、卒業できるよう支援を継続しています。継続的なご協力に、深く御礼申し上げます。

日本の皆さまからのご協力で教育支援を実施している地域

2024年6月～2025年5月は、ソファアラ州のみで支援を実施しました。



1

就学前教育で養う小学校で学ぶ力

ユニセフは、ソファアラ州の**小学校85校**で、5～6歳の子どもを対象に8週間にわたる120時間（8週間・週5日・1日3時間）の短期集中就学準備プログラムを実施しています。

まず、子どもたちを指導する**指導員258人**が、8日間の研修を受け、遊びを取り入れた指導方法、教材の製作方法、インクルーシブ教育[※]について学びました。短期集中就学準備プログラムには、**子ども4,515人**（障がいのある子ども20人を含む）が参加。子どもが小学校生活をスムーズに始められるよう、プログラムは現地語と公用語のポルトガル語で進行します。子どもたちはグループ活動を通して情緒や社会性を育み、数字を使った遊びやポルトガル語で聞いた物語を自分の言葉で話すこと、物の名前を覚える練習などを通して、基本的な読み書きと数の教え方を学びました。プログラム修了後、参加したすべての子どもが小学校に入学でき、ソファアラ州の小学校就学率の向上に大きく貢献しています。



加えて、1年生を担当する**教員85人**は、低学年向けの遊びを取り入れた指導方法や安心して学べる環境づくり、保護者・子ども・教員・学校の関係構築、適切な教材の作り方などに関する研修を受けました。

また、プログラムに参加した**子ども4,515人の保護者**が、全13回の講習会に参加し、就学前教育の重要性に加えて、子どもへの愛情の示し方や注意の仕方、子どもの自信や自尊心を育む方法、子どもに伝わりやすい話し方などを学びました。

※障がいの有無にかかわらず、すべての子どもを受け入れる教育



2

質の高い教育による卒業を目指して



小学校における質の高い教育の提供



研修中の指導教諭

- ◆教育省は、読解・作文能力と算数力の向上を目指し、低・中学年の**指導教諭145人**を対象に研修を実施しました。特にポルトガル語教育プログラムを活用した研修では、小学1年生の口語表現や基礎的な読解・書き取り、2年生の文字のつなぎ合わせを用いた読解・作文、3年生の文章読解・解釈・作文など、各学年に合った効果的な指導力を習得しました。
- ◆読み書きキット**816セット**、児童用算数キット**846セット**と教員用算数キット**141セット**が配布されました。

安全かつ学習に適した環境の確保

- ◆ジェンダーと学校保健を担当する37校の**教員80人**が研修を受け、クラブ活動において、ジェンダーの平等や月経衛生管理、暴力への対処方法について児童に適切に教えられるようになりました。
- ◆40校から**216人の児童**が、ライフスキル[※]習得のための研修に参加しました。児童の意思決定力を高めるとともに、互いを尊重する人間関係の構築やジェンダー平等の理解、安全な学校環境の促進を図ることを目的としています。研修を受けた児童は、今後の学校クラブで、**約10,800人の児童**にも広く伝えていきます。

※ライフスキル：日常生活に生じる様々な問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な力

- ◆学校運営委員会の**メンバー約420人**は、学校運営の強化と児童の退学・欠席防止を目的とした研修を受けました。児童の出席促進や、教員・児童の出席状況の監視、子どもに対する暴力への対処に加えて、教育省が学校に直接提供する学校支援金の管理方法を学びました。

- ◆**小学校2校**に、児童2人用の机250台、教員用の机20台と椅子20脚が配付されました。また、3校の給水設備が改修され、**児童1,500人**が安全できれいな水を利用できるようになりました。



絵を用いた研修風景



クラブ活動の様子

すべての子どもに学校環境を整える



インクルーシブ教育を学ぶ教員

- ◆**教員養成担当者30人**が、障がいのある子どもを対象としたインクルーシブ教育に関する養成プログラムを修了しました。研修では、すべての子どもを受け入れる指導の実践や、聴覚障がいのある児童のためのモザンビーク手話の基礎などを学びました。その後、46校の**教員80人**を対象に研修を拡大し、障害のある子どもたちの質の高い教育へのアクセス改善に貢献しました。
- ◆障がいのある児童が在籍する小学校に、車椅子、肘杖、点字板、音声時計、白杖、手話ポスターなどの**補助器具一式**が提供されました。児童が安全に校内を移動し、学習やコミュニケーション、レクリエーション活動に積極的に参加できるよう支援しました。

スクール・フォー・アフリカ特設サイトでは、教育支援の内容や子どもたちの様子をお伝えしています。
ユニセフ・モザンビーク事務所のX（旧Twitter）の投稿内容もご覧いただけます！
www.unicef.or.jp/sfa/report/report_mztwitter.html

